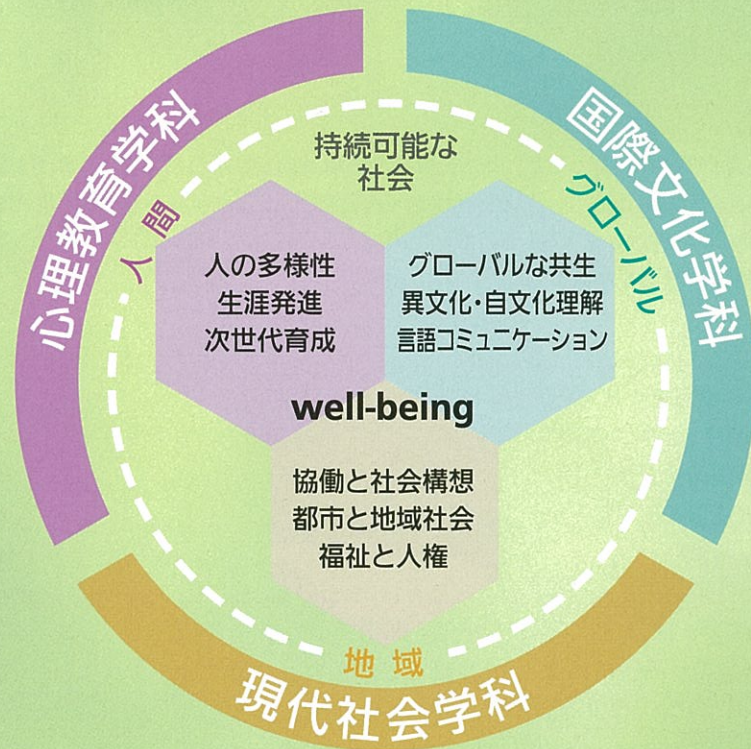


人文社会学部

ESD (Education for Sustainable Development) of human well-being in glocal societies
 「豊かで人間らしい生き方のための持続可能な地域社会と地球社会をつくる教育」

人間の多様性を承認しあう次世代を育て、
 地域社会における協働と福祉に関わり、
 グローバルな共生へと越境する人材こそ、
 持続可能な社会の人間的基盤である。



基礎科目(ESD)

- 多様性理解の心理・教育
- 次世代育成の教育論
- 多文化共生の心理学
- ジェンダーで見る現代社会
- 持続可能な日本社会論
- 現代社会と福祉
- グローバル社会と文化変容
- 共生のコミュニケーション
- 世界の中の日本文化

2013年度から人文社会学部は新たな次元へ バージョン・アップ!!

人文社会学部の教育

ESD

人の多様性	心理教育学科
生涯発達	
次世代育成	
保育士資格・幼稚園教員免許	
協働と社会構想	現代社会学科
都市と地域社会	
福祉と人権	
社会福祉士受験資格／社会・地歴・公民教員免許	
グローバルな共生	国際文化学科
異文化・自文化理解	
言語コミュニケーション	
英語教員免許	

履修モデルと進路

- 課題解決能力の高い保育者を目指す
(保育士、幼稚園教諭)
- 次世代育成支援の課題を学ぶ
(行政職、企業など)
- 人の心理と多様性を学ぶ
(心理関連職[家裁調査官、法務省矯正心理専門職等]、行政職、企業など)



- 協働社会をデザインする力を養う
(企業、マスメディア、行政職など)
- まちづくりをコーディネートする力を養う
(地方公務員、サードセクター、企業など)
- 福祉の支援を実践する力を養う
(社会福祉専門職、行政福祉職、福祉関連企業など)



- グローバルな視点で社会に貢献する
(日本企業の海外部門、外資系企業など)
- 日本文化をグローバルに発信する
(行政職、企業など)
- 言語と文化の多様性を学ぶ
(観光業、中高教員など)



名古屋市立大学人文社会学部

「人材の養成に関する目的」

- 1 人類の豊かな未来を求めて人文科学・社会科学の諸分野について学び、今日の人間、社会、文化に関わる課題について研究して、それを社会に役立てる人材
- 2 現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な諸問題を多面的に考察し、実践的に解決していく知を身につけた人材
- 3 少人数教育の演習・論文指導によって、発表・討論能力や構想力・文章表現力を身につけた人材

